

町指定重要文化財候補リスト

	名 称	所有者	所在地	種 別	時代	説明
I	1 木製香印盤	景観寺	同	美術工芸 工芸品	江戸	数少ない江戸時代の香印盤として貴重である。
	2 銅製鰐口	小谷地区	旧観音堂	美術工芸 工芸品	江戸	銘文により観音供養のため元和3年(1617)に奉納されたことが知られ、町内では数少ない鰐口の資料として貴重である。
	3 銅製鰐口	行安寺	倉見観音堂	美術工芸 工芸品	江戸	銘文により庚申供養のため元禄13年(1700)に奉納されたことが知られ、町内では数少ない鰐口の資料として貴重である。
	4 色々緋二枚胴具足 総毛引紅糸緋二枚胴具足	寒川神社	同	美術工芸 工芸品	江戸	江戸時代当世具足として貴重なものである
	5 寒川神社文書	寒川神社	宮山	美術工芸 古文書	近世～近代	町内古文書の中でも、比較的まとまっており、町の歴史を知る上で貴重なものである
	6 追儺祭	寒川神社	同	無形民俗		寒川神社特有の古式祭
	7 武佐弓祭	寒川神社	同	無形民俗		寒川神社特有の古式祭
	8 旧西寒川線跡	町	一之宮	史跡	昭和	旧西寒川線の跡地。寒川の近代の歴史の名残を残す。旧相模海軍工廠碑もある。
II	9 阿弥陀三尊来迎図	念宗寺	同	美術工芸 絵画	室町時代	町内最古の仏画として貴重である。
	10 三十三応現身像	景観寺	同	美術工芸 彫刻	室町～江戸	三十三のうち三十体が残り貴重である
	11 不動明王坐像	西善院	同	美術工芸 彫刻	室町	大山信仰をあらわれとして重要な作品である
	12 入沢家文書	個人	一之宮	美術工芸 古文書	近世～近代	町内古文書の中でも、比較的まとまっており、町の歴史を知る上で貴重なものである
	13 寒川町公文書	町	宮山	美術工芸 古文書	近代	公文書も近代の町の歴史を知る上で貴重なものである
	14 乳文鏡	神奈川県	倉見川端遺跡出土	美術工芸 考古	古墳時代	古墳等から出土することが多いが、竪穴住居址から出土し、県内でも類例が少なく貴重である。
	15 大曲五反田遺跡の出土遺物	神奈川県	大曲五反田遺跡	美術工芸 考古	奈良・平安時代	国指定遺跡となった下寺尾官衙遺跡群の一角をなす遺跡である。旧河道から出土した遺物は当時の信仰を色濃くあらわす
	16 田打舞神事	寒川神社	同	無形民俗		寒川神社特有の古式祭
	17 木造十一面観音坐像	小谷地区	旧観音堂	美術工芸 彫刻	江戸	胎内に納入文書有り。
	18 皆川家文書	個人		美術工芸 古文書	近世～近代	町内古文書の中でも、比較的まとまっており、町の歴史を知る上で貴重なものである
	19 地神塔	個人	田端	有形民俗	江戸	銘文により安永8年(1779)のものとなり、像容の地神塔としては県内最古とおもわれ希少価値あり
	20 準四国八十八ヶ寺巡りの弘法大師坐像(町内9体分)	各寺院等	岡田、大曲、一之宮、宮山、大蔵	有形民俗	江戸	江戸期の庶民信仰を知ることができる。
	21 岡田遺跡	個人	岡田地区	史跡	縄文時代	国内最大級の住居址数をほこる遺跡。西側は開発により隠滅。
	22 寒川小学校100年桜	町	岡田	天然記念物		寒川小学校を象徴する樹木。痛みが激しい

Ⅲ	23	倉見駅舎	企業	倉見	建築物	大正	大正時代の駅舎がそのまま利用されている
	24	水道記念館	神奈川県企業庁	宮山	建築物	昭和初期	寒川浄水場旧ポンプ所の建築物を使用している
	25	灯籠立て (大山灯籠)	各地域	大曲、岡田、 大蔵地区	無形民俗	江戸	大山信仰を表す。現在でも一部残る。
	26	地藏菩薩立像	個人	宮山(旧地 蔵院)	美術工芸 彫刻	江戸	旧地藏院本尊と思われる。江戸期の像としては水準以上の作品
	27	門構え	個人	一之宮	建築物	近世～近代	I邸
	28	門構え	個人	大蔵	建築物	近世～近代	長屋門(T邸)
	29	門構え	個人	岡田	建築物	近世～近代	M邸
	30	稲荷講	宮山地域	宮山	無形民俗	江戸	平成18年度に調査が行われており、継続している模様である。
	31	地神講	大蔵地域	大蔵	無形民俗	江戸	平成18年度に調査が行われており、継続している模様である。
	32	念仏講	岡田地域	岡田	無形民俗	江戸	平成18年度に調査が行われており、継続している模様である。
33	寒川神社の参道の森	寒川神社	宮山	史跡 天然記念物		歴史的参道。県の保護樹林	

指定候補文化財について

寒川神社特有の古式祭

- ・ 追儺祭
- ・ 武佐弓祭
- ・ 田打祭

寒川神社は当町のみならず、「相模国一宮」として、古くからの歴史を持つが、そこで行われている祭礼は貴重な無形民俗文化財でもあると言える。『寒川神社志』（明治44年刊）の祭礼の項では「当社特有の古式祭」として、追儺祭、武佐弓祭、田打舞、端午祭（国府祭）、浜降祭が挙げられている。

既に、国府祭、浜降祭は神奈川県により指定されているため、その2件を除いた3件の祭礼を今回指定候補とするものである。

各祭礼の内容について『寒川町史 12 別編民俗』を参照のこと

追儺祭

- ・「追儺」（ついな・おにやらい）とは平安期から宮中で大晦日におこなわれている鬼祓いの儀式。大陸から伝来したものといわれる。
- ・「追儺祭」は各地で行われている儀礼であり、各地で文化財の指定等がされている。
- ・寒川神社の追儺祭は鬼が出てこないという特徴がある。また「難波の小池」との関連など独自性がうかがえる。
- ・寒川神社の追儺祭がいつごろから行われていたのかは分かっていないが、同神社所蔵の江戸時代の文献に記述がみられるので、同時期には既に行われていたと考えられる。
- ・江戸期の追儺祭が現在の形態と同じものかは不明であるが、文献により使用されている祭具に大きな変化が無いことは判明しており、明治大正期の追儺祭は細かい違いはあるが、現在の祭礼と大きな違いはないことが分かっている。
- ・寒川神社の追儺祭については『追儺に関する一考察』（2017 佐原）により詳しい考察がされている。

武佐弓祭

- ・弓を使った儀礼は、一般には歩射（奉射）と呼ばれる正月の神事で、お弓祭、御弓祭、弓引き祭等の名称で各地で行われており、指定等もされている。
- ・寒川神社の武佐弓祭がいつごろから行われていたのかは分かっていないが、同神社所蔵の江戸時代の文献に記述がみられるので、同時期には既に行われていたと考えられる。
- ・一般的に的に「鬼」の文字を書き、それを射ることで厄払いをすることが多いが、寒川神社の場合、「鬼」の字が正確な鬼ではなく、「甲乙ム」の文字で構成されている
- ・一般的に的に射ることで「厄払い」を意味するが、寒川神社の場合、現在は当たった箇所や回数によってその年の吉凶を占うことに重点が置かれている。
- ・また、的に横にかけてある、麻を持ち帰ることにより安産や建築の守りとなると言われている。
- ・これらの点は周辺地域では寒川神社のみの内容と思われる。

田打舞

- ・五穀豊穰を願う「田」関連神事は田打、田祭等の名称で東海地方から東北・北陸などで多く見受けられ、特に東海道方面で見ることができ、指定等多くされている。
- ・『寒川神社志』に掲載されている詞章は中世に発生した「田遊び」の系譜を色濃く残している点が注目されるが、詞の内容のみしか伝承されておらず、曲も残っていれば、田遊びの原型を探ることのできる神事であったと思われる。
- ・寒川神社の田打舞は東海地方の系譜を伝承しているものと考えられ、伝承経路を探る上でも重要なものと考えられている。
- ・寒川神社の田打祭がいつごろから行われているかは分かっていないが、明治期、以降何度か中絶、復活を繰り返し、平成 3 年に各地の現存の田遊びを参考に、古式の田打舞が復元され現在に至っている。
- ・復元された古式の田打舞は、『寒川神社誌』に所収の「神楽歌」に残された詞章に音楽的・芸能的な肉付けをされたものである。また詞章には一部手直しがされている。

無形民俗文化財指定例

歩射、奉射、等指定

名称	指定等	内容
田名八幡宮の的祭	相模原市指定	豊凶を占う歩射行事。起源は鎌倉期ともされるが、元禄時代とも記されている。
白岩神社祭礼	大磯町指定	豊作、豊漁を祈念した行事。フクメンを啜えながら矢を射つのが特徴。
白髭神社の奉射祭	小田原市指定	五穀豊穡の吉凶を占う新年の神事。境内の椿の木で作った鳥形（ツバメ）を的につけて射る。

田遊び等指定

鶴見の田祭り	横浜市登録	明治5年に中段されたものを昭和62年に復活鎌倉時代から受け継がれているとされる
--------	-------	---

追儺祭等指定

長田神社古式追儺式	神戸市指定	室町期より続く行事で、節分祭から始まり、無病息災家内安全を祈り、鬼が神々に代わり踊る。
-----------	-------	---

その他

前鳥神社祭事	平塚市指定	3つの古式神事 ・ 麦振舞（むぎふるまい）神事 ・ 神輿宮入 ・ 日本武尊之舞
--------	-------	--